

5月の休日当番医

3日(木)

① 獨協医大日光医療センター
☎ 76-1515
② 片岡歯科医院 ☎ 53-1999

4日(金)

① 今市病院 ☎ 22-2200
② 安西デンタル・クリニック
☎ 21-0008

5日(土)

① 獨協医大日光医療センター
☎ 76-1515
② 鈴木歯科クリニック ☎ 26-5566

6日(日)

① 獨協医大日光医療センター
☎ 76-1515
② 湯澤歯科医院 ☎ 21-0113

13日(日)

① 川上病院 ☎ 22-2311
② みむら歯科医院 ☎ 22-9322

20日(日)

① 森病院 ☎ 22-1024
② 柴田歯科クリニック ☎ 21-0664

27日(日)

① 今市病院 ☎ 22-2200
② 大橋歯科医院 ☎ 77-0142

※ ①は医科、②は歯科の休日当番医
診療時間
①:午前8時～翌日午前8時
②:午前10時～午後4時
※ 休日急患こども診療所(☎30-7299)…日曜日・祝日・振替休日
に診療を行っています。

＊成人健康診査(予約制)＊

とき	ところ	受付時間	①	②	③	④	⑤
8日(火)	今市保健福祉センター 横川公民館	午前7時30分～10時30分 午前9時～11時	○	※	○		
10日(木)	大原集会所	午前7時30分～11時	○	○	○	○	
11日(金)	南原コミュニティセンター	午前6時30分～10時30分	○	○	○	○	
11日(金)	日光福祉保健センター	午前8時～10時30分	○	○		○	○
12日(土)							
13日(日)	日光福祉保健センター	午前8時30分～10時30分	○	○	○	○	
15日(火)	大沢小学校	午前7時～10時30分	○	○	○		○
17日(木)	鶏頂地区活性化センター	午前9時～11時	○	○	○		
18日(金)	銅やまなみ館	午前7時30分～10時		○	○	○	
							若い女性の健診
22日(火)	豊岡支所 藤原総合文化会館	午前7時～10時30分 午前7時30分～11時	○	○	○		○
23日(水)	南原コミュニティセンター	午前7時～10時30分	○	○	○	○	
26日(土)	今市保健福祉センター	午前6時～10時30分	○	○		○	
28日(月)	今市保健福祉センター	午前7時30分～10時30分	○		○		
29日(火)	つつじヶ丘公民館	午前8時～11時	○	○	○		
	足尾児童館	午前8時30分～10時	○	○	○	○	
30日(水)	日向公民館	午前7時30分～11時		○	○	○	
							若い女性の健診

❖ 4月からどの地域の会場でも受診できるようになりました。

❖ 色の付いている日は、女性のみの健診になります。

- ① 基本健康診査、胃・肺・大腸がん検診
② 子宮がん検診(40歳以上で偶数年齢)

乳がん検診【マンモグラフィ・超音波(40歳以上で偶数年齢)、超音波(40歳以上)】
※ 8日(火)の横川公民館では、乳がん健診(超音波)のみの検査となります(子宮がんおよびマンモグラフィによる乳がん検診はありません)。

- ③ 前立腺がん検診 ④ 骨粗しょう症健診(40歳から5歳間隔で70歳まで)
⑤ 歯科健康診査

若い女性の健診…20歳から39歳までの女性が対象【一般健康診査・骨粗しょう症健診(20、25、30、35歳)、子宮がん検診(偶数年齢)、乳がん健診(30歳～39歳)】

＊成人健康相談＊

内容	とき	ところ	受付時間
成人総合相談	1日(火)	藤原高齢者福祉センター	午前9時30分～11時
	7日(月)	今市保健福祉センター	午前9時30分～11時30分
	毎週月曜日	藤原保健センター	
成人栄養相談	7日(月)	藤原保健センター	午前9時30分～11時30分
	16日(水)	今市保健福祉センター	午前9時～正午(要予約)
ワンポイントヘルシー教室	25日(金)	女性サポートセンター	午前9時30分
	29日(火)	細尾日光材モデルセンター	～午後1時30分

る程度で、感染に気付かないことがあるようです。しかし、女性には子宮頸管炎や付属器炎(卵管炎)、肝周囲炎などを起こし、不妊症の原因となるので注意が必要です。肝周囲炎になった場合は、クラミジアが腹腔内に広がり、強い腹痛を引き起こします。また、クラミジアは男女間で互いに感染させ合う「ピンポン感染」があります。そのため、男女ともに治療を受ける必要があります。男性の場合はクラミジアが尿道内に潜んでいます。排尿とともに菌が出にくい傾向があるため、1回の尿検査では見つからないことがあります。そのため、女性が陽性の場合、男性は陰性であっても、治療を受ける必要があります。咽頭への感染も問題になります。薬を飲んでも菌を取り除くことができず、治療に時間がかかることもあるようです。治療は抗菌薬が有効ですが、菌の耐性化が進んでおり、薬が効かないこともあります。エイズなどの混合感染もありますので、とにかく感染を予防することが大切です。今後は、10歳代からの感染予防教育が重要になってくるでしょう。